発言通告書の要旨（一般質問）　　令和7年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件　　名	要　　旨
3/7 （金）	1	21 金子辰男	1、コメ不足と農業政策について	コメ不足の最大の要因は、コメの生産が減り過ぎていることである。国の食料自給率は4割弱である。三豊市のコメ生産量、20年前と比較すると、どのように変化しているのか。農家側はコメを作っても赤字である。消費者側のコメの価格は高騰している。 三豊市の農政を変えるチャンスではないか。どのように考えているか伺う。
			2、三豊市で暮らす外国人、訪れる外国人について	政府が外国人労働者の受け入れを拡大している。さらに事実上の移民受け入れに舵を切りつつある。三豊市においても多くの外国人が居住し、また、インバウンドにて三豊市を訪れている。今後さらに増加が見込まれる。外国人政策全般に対しての考え方や、自治体としての対応についてどう考えているのか伺う。
	2	18 西山彰人	1、救急医療体制について	救急車の出動を依頼したが受け入れる病院を見つけるのに長い時間がかかったと聞くが、三豊市としてどのような対策を講じているのか伺う。
			2、事務事業の棚卸しに伴う事業内容の把握について	まちづくり推進隊の予算が削減されているが、推進隊が事務局を担っていた事業の予算はどうなったのか、また、そこで働いていた労働者の対応について伺う。
	3	8 水本真奈美	1、災害時の罹災証明・被災証明について	災害発生後には迅速な罹災証明書や被災証明書の発行が求められる。能登半島地震において、交付にかかる職員の業務負担や交付までの待機時間長期化による住民の負担等々が問題となっている。 本市は県内他市と比べ、関連例規の整備がなされていない現状である。大規模災害時に罹災・被災証明書をどのように交付するのか、迅速に発行できる体制やマニュアルが整っているのか伺う。
			2、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりについて	(1)認知症ケア技法であるユマニチュードを周知、普及について (2)認知症行方不明高齢者の命を守る取り組みについて伺う。

発言通告書の要旨（一般質問）　　令和7年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件　　名	要　　旨
3/10 （月）	4	12 岩田秀樹	**1、「地域計画」の策定及び実行の推進について**	「地域計画」の策定主体である市町村をはじめとした関係機関等が一体となって同計画の策定及び実行を推進するにあたり、地域計画の策定は、地域の農業を維持・発展していくためのスタート地点である。策定した計画を実行し、評価し、改善し、再計画し、そしてまた実行、という手順を継続していく必要がある。計画策定に当たっては、関連計画も反映することとある。どのように反映しているのか。
			2、学校給食に友好都市の農産物導入を	友好都市提携している自治体の農産物などを学校給食に導入する取り組みを行ってはどうか。友好都市交流を行っているが、農産物の交流を行うことにより相手の姿が見えるのではないか。
			3、高齢者の地域の足確保対策はどうか	市民の暮らしを支える最も重要な要素は「移動」であると施政方針で述べている。 移動の解決を図るためとして、交通システム事業団を昨年設立した。今後の地域交通の課題解決に向けて、どう取り組むのか。EV無人バスの検証も必要かもしれないが、免許証返納者の利用するバスの利用についても深く検討が必要ではないか。
			4、校則の見直しの状況と子どもの権利表明、意見収集の実態はどうか	中学校校則の見直しをするとのことであったが、どうなっているのか。2016年に「子どもの権利条約」を基本理念と明記した改正児童福祉法が成立した。2022年には「こども基本法」が成立した。学校現場において子どもの権利条約に基づく教育や学校運営がなされることを目指したものであった。意見反映の取り組みがどのようにされているか。
			5、自主防災組織活性化の対策は	南海トラフ地震が30年以内に発生すると予測されている。このような中、三豊市の海岸線は震度7も予測されている。このような中、それぞれの対策が求められているのではないか。 自治会組織率も下がりつつある中、自主防災組織活動の活性化策はどう考えているか。
	5	5 横山　強	**1、天災・人災・有事に対する防災と、食料安全保障の取り組みについて**	⑴異常気象・地震・津波対策に対する予算と取り組みを伺う。 ⑵今、世界情勢の中で有事に対する市民の命の安全対策に対する政策を伺う。 ⑶今、日本全国で農業の衰退と、三豊市の農業の衰退の原因を伺う。 ⑷⑴⑵⑶の項目に対する今後の三豊市政は食料安全保障の政策を伺う。
			2、建物解体後の有価物の取り扱いについて	⑴令和6年3月11日に建物解体後、有価物の取り扱いについての私の一般質問に対し、市長答弁と異なる取り組みを公有財産管理審査会で、副市長と各部長が変更する協議を令和6年7月17日決定した問題点等を伺う。 ⑵令和6年8月23日に総務委員会の調査会での全議題に対し、委員に報告した虚偽と、市民の税金が財源となる有価物の取り扱いの答弁について伺うとともに、虚偽と、疑問点を副市長に伺う。
			3、市民病院の粗悪な施工工事について	市民病院建設後に粗悪な瑕疵工事の問題点と今後の市政の方向性を伺う。

発言通告書の要旨（一般質問）　　令和7年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件　　名	要　　旨
3/10 （月）	6	2 田中達也	1、デジタル地域通貨MitoPayについて	以下の質問を通じて、MitoPayの利用促進と市民の利便性向上を図るための具体的な施策について確認する。 (1)世帯普及率の詳細調査を実施する考えはあるか。 デジタル地域通貨MitoPayの普及状況を把握するため、世帯普及率の詳細な調査を実施する考えがあるかを問う。特に、利用していない世帯の理由などを明確にすることで、今後の普及促進策を検討するための基礎データを収集する必要がある。 (2)プレミアムポイント事業における世帯代表者の申し込みを可能にしてはどうか。 プレミアムポイント事業において、世帯代表者が世帯全員分の申し込みを行えるようにすることの必要性を問う。これにより、特に高齢者やデジタル機器に不慣れな家族がいる世帯の利便性が向上し、より多くの市民がプレミアムポイントを活用できるようになると考える。 (3)デジタルディバイド対策を強化すべきではないか。 紙の商品券復活を求める声が聞かれるものの、後退は望ましくない。高齢者やデジタル機器に不慣れな家族がいる世帯に対して、デジタル地域通貨の利用方法の簡素化やサポート体制の強化などの具体的な対策が求められるが、実施する考えはあるか。
			2、市立小中学校の校則について	校則は、児童生徒の健全な成長と学校生活の秩序を保つために重要な役割を果たしている。しかし、ツーブロック禁止をはじめとする合理性のない校則について、改善を求める声が多く、社会の変化や児童生徒の多様化に対応するため、現行の校則の見直しが必要である。市立小中学校の現状と、今後の方針について問う。
			3、市立小中学校の教室の温度管理について	市立小中学校の教室における温度管理が文部科学省の学校環境衛生基準に適合しているかどうかを問う。具体的には、教室内の温度が基準値内に収まるよう統一したルールで管理されているか、そしてこれらの管理が児童生徒の健康・学習環境等にどのような影響を与えているかについて質問する。
			4、部活動の地域移行に伴う保護者の送迎負担軽減策について	部活動の地域移行が進む中で、保護者から送迎の負担について不満の声が上がっている。特に、遠方の練習場所への送迎や、複数の子どもを持つ家庭にとっては大きな負担となっている。この問題に対して、市としてどのような対策を講じる予定か、具体的な計画や支援策について聞く。
			5、不登校支援について	不登校の支援を行うNPO団体から、対象となる保護者に情報を届けることが難しいという相談を受けた。不登校の現状と、支援の手が行き届くよう工夫が必要だと考えるが、現状と対策を聞く。
	7	20 詫間政司	1、太陽光発電システムへの課税について	地球温暖化対策として、急速に設置が進む太陽光発電システムについて、10キロワット以上の産業用は課税対象となる。所有者が固定資産税の申告をすることなく、課税漏れが多くあるとのことであるが、適正に課税されているのか。これまでの経緯や不公平の解消に向けての取り組みを問う。
			2、ファイナンス機能を有する組織創設という組織改革による意識改革について	1件目の質問を考えている中で、このような不公平が生じているのはどこに問題の根幹があるのかを熟慮することとなった。今後ますます厳しくなるだろう当市の財政事情を考えるとき、より一層厳格に納税業務を含めた歳入と歳出を一元管理する意識が必要と気づいた。財政運営において、歳入確保とその運用を目的とした、ファイナンス機能を有する組織創設という組織改革による、行政の事務事業運営の意識改革につなげることを提案する。その考えを問う。

発言通告書の要旨（一般質問）　　令和7年第1回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件　　名	要　　旨
3/10 （月）	8	15 瀧本哲史	1、地域の人事部	地域企業の人的問題と課題について
			2、みとよ市民病院	(1)経営状況について (2)施政方針のみとよ市民病院部分について (3)病院の取り壊しについて
			3、事業の棚卸しと財政問題	今後の展開と見通しについて
			4、一般社団法人みとよ交通システム事業団MiLAIS	具体的な問題について
			5、公共施設等総合管理計画	中身について